

# とんち

# 議会だより

2017.4.20  
No.153

## 希望に 胸ふくらませ

### 新地小学校32名入学

### 〈3月定例会〉

- 定例議会の概要 …………… 2～6
- 請願・陳情 …………… 3
- 予算審査特別委員会  
    こんな質問が …………… 4～6
- 町政を問う …………… 7～13
- 常任委員会レポート …… 14～15
- 議会日誌／編集後記 …………… 16



定例議会の概要

平成29年第1回定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開催され、町長から提出された副町長と固定資産評価審査委員会委員の選任同意、条例の改正及び、一般会計・特別会計補正予算、平成29年度当初予算など28議案を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。  
また、15・16日には、6名の議員が一般質問を行いました。

平成29年度 一般会計予算

一般会計は、歳入歳出それぞれ109億7,000万円、前年度の当初予算と比較して51億3,000万円の減となった。

歳入

町民税や固定資産税、農地災害復旧などの県支出金、みらいを描く市町村等支援事業助成金などの諸収入、地域活性化事業の町債等が増となり、復興事業への復興基金繰入で約66億2,300万円の減を見込んでいる。

歳出

防災緑地公園事業や新地駅周辺整備などの復興事業で約32億4,480万円、農地・農業施設災害復旧や海釣り公園整備などの復旧事業で約22億2,248万円、除染事業で7,874万円な



▲尚英中学校入学式(4月6日)

一般会計は109億7千万円、特別会計を含め136億4千万円

将来の町づくりの創造を目指して

会計別当初予算額

| (単位:千円) |             |            |             |           |
|---------|-------------|------------|-------------|-----------|
| 会計別     | 平成29年度      | 平成28年度     | 比較          |           |
| 一般会計    | 10,970,000  | 16,100,000 | △ 5,130,000 |           |
| 特別会計    | 国民健康保険      | 1,301,895  | 1,272,706   | 29,189    |
|         | 介護保険        | 883,110    | 737,371     | 145,739   |
|         | 後期高齢者医療     | 156,982    | 158,971     | △ 1,989   |
|         | 公共下水道事業     | 236,188    | 273,148     | △ 36,960  |
|         | 農業集落排水事業    | 50,515     | 61,531      | △ 11,016  |
|         | 新地南工業団地整備事業 | 44,686     | 394,798     | △ 350,112 |

予算審査特別委員会

予算審査は、3月4日から15日まで全体方式で行い、一般会計と6件の特別会計を審査し、原案のとおり可決すべきものと決定した。

委員長 八巻 孝  
副委員長 八巻 秀行

審査意見

平成29年度予算は、将来の展望と方向性を示す「新地町第5次総合計画後期基本計画」及び国の「復興・創生期間」2年目の予算であると共に、人口減少対策や地方創生策を具現化する大事な予算である。

これまで復旧、復興を最優先に掲げて対応してきたところであるが、将来の町づくりの創造を目指し、迅速かつ適正な執行と行財政の円滑な運営を図られたい。

一般会計予算

一般会計は109億7千万円で特別会計を含む予算規模は136億4,337万6千円の対前年度比53億5,514万9千円減となっている。

更に、22件で24億5,511万4千円の事業が繰り越され、一般会計の実質的な予算額は134億2,511万4千円となっている。歳入について

新たな事業や制度の情報

○公共下水道事業特別会計予算及び農業集落排水事業特別会計予算  
接続率の向上を図るとともに、既存施設の長寿命化

○介護保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算  
高齢者の置かれている状況を考慮して、負担軽減を図られたい。

○国民健康保険特別会計予算  
予防医療の充実を図り、国保税の軽減に努められたい。

収集に努め、更なる財源の確保を図られたい。  
歳出について  
新地駅前整備事業や防災緑地整備事業は、町の将来を決める大事業であり、スピード感ある事業執行を図られたい。  
基幹産業の農・漁業振興を基本に、将来を見据えた取り組みをされたい。

新地南工業団地整備事業特別会計予算

B地区造成工事の適正な整備を図り、早期の企業誘致により雇用の確保に努められたい。

つながる維持管理体制に努められたい。又、区域の見直しについても検討されたい。

みなさんからの 請願・陳情 (3月定例会)

3月定例会での審査結果は、以下のとおりです。

|    | 要 望                            | 提 出 者                                  | 審査結果               |
|----|--------------------------------|--|--------------------|
| 請願 | ◇福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願 | 日本労働組合総連合会福島県連合会<br>相馬地区連合<br>議長 蔭山 智彦 | 採択<br>(関係機関に意見書送付) |
| 陳情 | ◇農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情          | 福島県浜通り農民運動連合会新地支部<br>支部長 八巻 賢次         | 継続審査               |



▲予算審査特別委員会

# 可決した議案

## 人事

○副町長の選任について

3月31日で任期満了となる副町長に、佐藤清孝氏を適任者として再任することに全会一致で同意



佐藤清孝氏 (中里)

○固定資産評価審査委員会委員の選任

3月31日で任期満了となる委員に、邊見早雄氏を適任者として再任することに全会一致で同意



邊見早雄氏 (明地)

○消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

現状に即した団員体制の整備、消防体制の再編・充実による団員数確保の負担軽減、消防団員が活動しやすい環境づくりのため、所要の改正を行うもの (全員賛成で可決)

○町民プール設置条例の一部を改正する条例

福田小学校敷地内に整備したプールを、新たに町民プールとして管理を行うため、所要の改正を行うもの (全員賛成で可決)

## 土地の取得

○土地の取得

常磐線移設復旧工事に伴う側道等の用地5,075.5平方メートルを購入するにあたり、東日本旅客鉄道株式会社と土地売買契約を締結するもの (全員賛成で可決)

## 条例

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

介護休暇の分割取得や不妊治療休暇を新設するため、所要の改正を行うもの (全員賛成で可決)

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

4月1日から通勤手当の上限額を改正するため、所要の改正を行うもの (全員賛成で可決)

○条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、軽自動車税グリーン化特例の延長、法人住民税法人税割の税率の改正、軽自動車税の見直しによる環境性能割の創設など、所要の改正を行うもの (全員賛成で可決)

行うもの (全員賛成で可決)

○介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の判定に関する基準の特例として、合計所得金額から長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除額を控除した額を用いるなど、介護保健法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、所要の改正を行うもの (全員賛成で可決)

○東日本大震災等による被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

原子力災害により避難等をした世帯に係る国民健康保険税及び介護保険料の減免の期間を平成29年度分まで延長を行うため、所要の改正を行うもの (全員賛成で可決)

6号線が福島県に移管されるにあたり、町道3路線の、新地駅周辺市街地復興土地画整理事業及び災害復旧事業等により、町道3路線の起点、終点等をそれぞれ変更するもの (全員賛成で可決)

●消防団員の定員及び配置 (階級別定員を含む。)

| 階級   | 職名 | 部  |     |      |     |      |       |       |        |    |     |     | 計 |        |
|------|----|----|-----|------|-----|------|-------|-------|--------|----|-----|-----|---|--------|
|      |    | 部長 | 副部長 | 副分団長 | 分団長 | 副分団長 | 訓練指導員 | ラッパ隊長 | 副訓練指導員 | 部長 | 副部長 | 班長  |   | ラッパ副隊長 |
| 本部   | 1  | 1  | 1   | 1    | 1   | 1    | 1     | 3     | 1      | 1  | 2   | 10  | 8 | 31     |
| 第一分団 |    |    |     | 1    | 1   |      |       |       | 3      |    | 8   | 72  |   | 85     |
| 第二分団 |    |    |     | 1    | 1   |      |       |       | 4      |    | 6   | 105 |   | 117    |
| 第三分団 |    |    |     | 1    | 1   |      |       |       | 3      |    | 7   | 60  |   | 72     |
| 計    | 1  | 1  | 4   | 4    | 1   | 1    | 3     | 11    | 1      | 21 | 2   | 247 | 8 | 305    |

## 町道

○町道路線の認定

新地駅周辺市街地復興土地画整理事業に伴い、新地駅西1号線外9路線、延長3,148メートルを、新たに町道路線に認定するもの (全員賛成で可決)

○町道路線の変更

駒ヶ嶺字古海道西地内から同字新林地内までの国道

## 都市公園

○都市公園を設置すべき区域を定めることについて

釣師防災緑地内に、都市公園を設置すべき区域を定めるもの (全員賛成で可決)

## 予算審査特別委員会 こんな質問が



Q ふるさと寄付金が10万円計上されているが、28年度の実績は

A 36件で149万円。うち3万円以上の寄付は28件で、返礼品として新地産品詰め合わせセットや新地産の米を送付した

Q 職員のストレスチェック等支援業務では、どのような結果が出ているのか

A 1割の職員が高ストレスと診断されている

Q 女性消防隊の役員が出ていない地区がある。どう指導しているのか

A 女性消防隊は、町内全家庭の婦人が構成員となっており、この役員は各地区から出して頂いている。

Q 観光物産PRのために、仙台駅や仙台空港などにパンフレットを置かせてもらえないのか

A 日本橋ふくしま館などに置いていますが、駅や空港は手続きが非常に難しい。東京の八重洲と日本

現状を確認して検討する

Q 町民号を再開する計画だが、場所と参加人員の予定は

A J.R常磐線の再開通を機に、北海道伊達市等を訪問し、交流と町民の親睦を図る。

時期は6月下旬に、参加人員は80名程度を考えている

Q 砂浜再生整備調査事業で、釣師浜海水浴場の復旧を図って行くということだが、震災前の形に復旧するだけなのか。観光客を増やすために、新たな形での復旧は考えていないのか

A 調査を行い、状況を見てどの様に再生するか検討する

Q 新たな防災集団移転団地の生活での健康支援活動

A 新たな防災集団移転団地の生活での健康支援活動

Q 被災者健康支援事業の内容は。仮設住宅の入居者はほとんどいなくなっていると思うが

A 被災者健康支援事業の内容は。仮設住宅の入居者はほとんどいなくなっていると思うが

Q 12月議会に町営住宅の悪質な入居者への「訴えの提起」があったが、他にそういった入居者はいないのか

A 家賃が1〜2カ月遅れている方はいるが、悪質な方はいない

Q 被災害者健康支援事業の内容は。仮設住宅の入居者はほとんどいなくなっていると思うが

A 被災者健康支援事業の内容は。仮設住宅の入居者はほとんどいなくなっていると思うが

Q 新たな防災集団移転団地の生活での健康支援活動

A 新たな防災集団移転団地の生活での健康支援活動

Q 被災者健康支援事業の内容は。仮設住宅の入居者はほとんどいなくなっていると思うが

A 被災者健康支援事業の内容は。仮設住宅の入居者はほとんどいなくなっていると思うが

Q 新たな防災集団移転団地の生活での健康支援活動

A 新たな防災集団移転団地の生活での健康支援活動



▲フットサル場の例

### 契約

○駒ヶ嶺用水路整備工事請負変更契約  
 施工延長に変更が生じたため、設計内容を変更し請負金額の減額変更をするもの  
 (全員賛成で可決)

○新地南工業団地B地区造成工事請負契約  
 工業団地敷地造成を行うため、株式会社千田建設代表取締役千田善雄と、2億



▲3月定例会の様子

1,600万円を請負契約を締結するもの  
 (全員賛成で可決)

### 補正予算

○一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ65億2,900万円を減額し、歳入歳出それぞれ105億800万円とするもの

#### 歳入補正の主なもの

町税9,376万7千円、震災復興特別交付税などの地方交付税で4億2,976万6千円、漁業集落防災機能強化事業などの国庫支出金1億2,743万6千円、受託事業収入などの諸収入で1,976万6千円、地方創生事業などの町債で4,800万円の増額、農地災害復旧事業費などの県支出金で8億6,781万2千円、財産収入では新地駅前保留地分譲などで2,161万6千円、復興交付

金基金などからの繰入金で63億6,187万4千円の減額

#### 歳出補正の主なもの

総務費  
 スポーツ施設整備事業費として1億5,619万8千円を新たに計上  
 衛生費  
 除染推進費1億9,500万円、相馬方部衛生組合負担金などで2億138万5千円を減額  
 農林水産業費  
 営農再開支援金事業や農業振興地域計画の委託業務などで3,875万8千円を減額  
 土木費  
 復興事業に係る各種事業で62億2,356万8千円を減額し、基金積立金で6億1,362万1千円を増額  
 災害復旧費  
 農地災害復旧費5億4,283万円、農業用施設災害復旧費4,290万円を減額

### 予算審査特別委員会 こんな質問が

Q 図書館屋根修繕に12,000千円とあるが、工事の内容は  
 A 全体に雨漏りがあり、今回ゴム材を貼る工事を計画している  
 Q 学区違いの小学校に通っている児童に、調査書的なものが届いたと聞いている。町として学区の考え方はどうなのか  
 A 町の計画に則り本来の通学区に戻したいと考えている  
 Q 町の健康教室及び、いきいき百歳体操の目的と参加人数は  
 A 脳の健康教室は、認知症予防の効果が認められるもので、駒ヶ嶺公民館で15名が継続的に参加した。いきいき百歳体操は、週1回の運動を継続することにより、介護予防と地域での交流を深めようというもので、町内11カ所で、町内186名が参加している



▲いきいき百歳体操の様子

Q 町内の要支援、要介護認定者の状況は  
 A 要支援1,2が144名、要介護1～5が332名で、合計では476名  
 Q 農業者年金の加入状況は  
 A 加入者6人、受給者5人のみである  
 Q 松くい虫防除費は、昨年2,108千円だが、1,500千円に減っている。山はあれ放題であり防除員の強化を望む  
 A 現在、町の防除員はいない。検討する

## 6名の議員が質問

(通告順)

### 寺島浩文議員 P9

- 1 高齢者向け生涯学習の推進について
- 2 新地の魅力満喫モデル事業について
- 3 農漁業の6次産業化推進について

### 八巻秀行議員 P10

- 1 新地駅周辺市街地復興整備計画の促進について
- 2 駒ヶ嶺公民館大ホール(体育館)の早期建設について
- 3 人づくり、地域づくり政策の創造について

### 吉田博議員 P11

- 1 老人福祉政策等の取り組みについて
- 2 空き家対策特別措置法の施行で、町の取り組みはどのようになるのか

### 齋藤充明議員 P12

- 1 利便性の高い新地駅へのアクセス道路整備について
- 2 道路等整備に関する建設資材支給について

### 遠藤満議員 P13

- 1 高齢運転者の増加対応について
- 2 相馬共同火力発電(株)の石炭灰処分場について

### 井上和文議員 P14

- 1 教育問題について
- 2 新地高等学校存続のために
- 3 観海堂の再建について

## ただここを質す!

# 町政を問う

## 一般質問

今期定例会の一般質問は、3月15日・16日の2日間行いました。

議員6名からは15件の通告があり、高齢者向け生涯学習の推進、新地駅周辺市街地復興整備計画の促進などについて質しました。

各議員からの質問内容は、左記のとおりです。以下、主な質問(Q)と答弁(A)を、登壇した順にお知らせします。



寺島浩文 議員

## Q 新地の魅力満喫モデル事業について

### A 鹿狼山登山を中心とした3コースを開発

**Q** 前回の一般質問で、交流人口増加策について伺ったところ、現在「新地の魅力満喫モデル事業」と言う事業で、新地の魅力を前面に打ち出すモデルコースの開発や、観光ガイドの育成などを大手旅行業者に委託し行っており、新たな観光資源の発掘と商品づくりにつなげたいという事だった。

モデルコースは2月中旬に出来上がっていると聞いているが、そのモデルコースや観光ガイドをどの様に活用し、交流人口拡大に結び付けて行くのか。



▲このほど完成したモデルコースガイド

**A** モデルコースは町民参加型のワークショップの提案に基づき、鹿狼山登山を中心とした「自然を楽しむ日帰りコース」など3コースを開発した。また、モデルコースを効果的に案内する「新地のおもてなし案内人」を発掘・育成するための講演会や現地研修なども開催した。モデルコースは、ポスターやパンフレットとして、首都圏等の観光案内所や旅行代理店などに配布、設置する。また、旅行会社のパッケージツアーとしての利活用も検討する。合わせて観光協会とも連携し、ボランティアガイドの仕組みづくりを進めたい。

モデルコースについては、将来的には駅周辺や海の観光資源を加えて段

階的に充実を図り、みちのく潮風トレイルとも連携しながら、広く情報発信を行い、交流人口の拡大につなげる。

### 高齢者向けスポーツの推進と施設の整備を

**Q** 町内高齢者の一番の人気スポーツは、パークゴルフであるが、今後高齢者人口の増加とともに、ますますパークゴルフ人口は増えて行くことが予想される。その受け皿となる様に、現在の「やくそうの森パークゴルフ場」を拡張できるように、町として支援して行くべきではないか。

**Q** 現在新地駅東に計画されているフットサルコートであるが、ゲートボールやグラウンドゴルフなどで、平日の日中に高齢者が利用できるように床を人工芝にするべきではないか。

**A** パークゴルフ場拡張に対する支援については、拡張が可能かどうかその可能性について今後調査してみなくてはいけないと思う。先ずは、運営している団体や毎日に利用している人たちが、現在

**A** フットサルコートについては、現在フットサル以外ではバスケットボール、テニスなどが行えるハードコートで計画しており、ゲートボールやグラウンドゴルフは考えていない。しかし、高齢者の方にも、健康教室などで平日の日中に大いに活用して頂ける様なメニューも考えて行く。

## Q 定住促進住宅建設の遅れ、損失をどう回復するか

### A 遅れを取り戻すため、整備促進を図る



八巻秀行 議員

**Q** 定住促進住宅は、すでに福田地区には12戸が整備されており、昨年9月議会で新地駅前に2階建て2LDK8戸を整備することとした。しかし、1月25日産業建設常任委員会、2月7日の総務文教常任委員会その他案件として、福田地区に2戸増加して10戸を建設する変更案が出された。第2次復興計画、第5次総合計画後期計画にも新地駅周辺に定住促進住宅の建設を掲げており計画に逆行し、福田地区への変更は全く別物である。この行政執行の「ぶれ」を追求したく一般質問をしたが、幸いにも本定例会初日に町長から①新地駅周辺の定住促進住宅の建設は、当初計画に沿い進める。②複合商業施設(インキュベーションスペース)については、国補助等がなくとも町単独事業でテナントを造るという発言を頂いたので視点を替えて申し上げる。昨年10月以来から、これ

まで5カ月以上にわたる定住促進住宅建設行政の空白は何だったのか。復興の1日も早い完成を誰もが求めている時期に、この行政執行の遅れ、損失をどのように町民に説明し、今後どう回復して行くのか。総括と今後の推進策を伺う。また、執行部の議会軽視とも言わざるを得ない政治空白について、町長はどう考えているか。

**A** 様々な補助事業を活用する段において土地の手当てに支障があるという事で庁内、課内で協議をし、県とも協議をした中で、定住促進住宅は駅前だけでなく町内どこでもいいということだった。各委員会に諮り議案に



▲整備が待たれる新地駅前

かけようと思った。この間丁寧な説明が足りなかったことをお詫びする。原点に立ち返り計画を進めることでご理解を頂きたい。多少の遅れを取り戻すべく早く設計協議を進め整備促進を図る。

**交流センター、複合商業施設の整備を促進を**

**Q** 先日夜、新地駅に降りたら駅の周りは街路灯が数基あるが、それを越えるあたりは真っ暗で住宅もまだ数棟しか立ってなく、強風吹き荒れる寂しい状況だ。交流センター、複合商業施設は公営施設であり、一層の整備促進を図らねばならない。複合商業施設は、「復興交付金等の補てんがなくとも町単独でテナント整備を進める」という町長の大きな決断があったが、被災者のみならず一般の希望者にも利用できるテナントとして、早期の建設を図らねばならない。

**A** 交流センターは、設計プロポーザルを行っており今月末に決定する。その後工事発注を行い、早期完成を目指す。複合商業施設は、出店希望者の要望を伺っており平成30年度の完成を目指す。



吉田 博 議員

## Q 高齢者の福祉対策について

### A 新たな地域包括ケアシステムで取り組む

**Q** 老人福祉対策について、町内の特別養護老人ホームの入居待機者は約80人と聞いていますが、今後の町としての対策は講じられているのかどうか。

また、国の医療政策が「病院から在宅医療」へ、「施設から在宅介護」へ変わり、医療難民、介護難民等が今後多くなると予想される。その対策は。

**A** 「新地ホーム」と「なごみの里福田」両施設の合計定員は130名となっております。現在の入所待機者は60名である。

待機されている方は、デイサービス利用や、介護保険サービス等を利用しながら住み慣れた住まいで生活できるように支援をしたい。

また、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、単身高齢者世帯や高齢者夫婦世帯、認知症高齢者の増加が予想されるので、

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで出来るよう取り組みたい。

**Q** 老々介護あるいは同居老人の老後についてどのような施策を持っているのか。

**A** 介護施策についてはこれまで行ってきた訪問理美容サービスや紙おむつの助成制度、民生委員や緊急通報システムによる見守りなどと併せて、地域包括ケアシステムの構築など、きめ細かな支



▲老人福祉の拠点 新地ホーム

援ができるよう取り組む。

**Q** 町内の空き家対策について

平成27年に施行された空き家対策特別措置法では要綱等について各市町村に委ねているが、2年経過した今、要綱等ができていくのか。

また、土地に建物があると、その土地の固定資産税が最大で6分の1まで優遇される特例があることから、解体しないのではないかと。

さらに、町では業者に委託して空き家調査を行う旨が広報に掲載されていたがその目的と調査内容について問う。

**A** 本年度に調査費が調査を実施していただき、この結果をもとに来年度は計画書の作成を行い、家屋の解体や、利活用につけて行きたい。

住宅用地課税標準の特例



▲空き家を調査する作業員と町内に点在する空き家の例

は宅地の評価をする際に急激な税負担が生じないよう配慮したものであり一定の額になれば空き家であっても課税され続けるので負担が多くなる場合もある。行政区長の聞き取りを基に、居住不明の家屋の状態を把握するため、業者により外観等の目視による現状調査を行った。

## Q 新地駅東西のアクセス道路を

### A 地下通路と県道相馬亘理線で対応

**Q** 新地駅周辺整備事業は、新たな町の顔づくりとして期待が高まっている。

駅西区画には、交流センターやホテル・温浴施設等の多くの施設が平成30年度のオープンを目指している。

また、駅東区画には、心療内科クリニックが、今夏、診療開始に向けて建設中である。更には、本議会において町予算でフットサル場建設費1億5千万円が計上されるなど、東区画の事業が動き始めてきた。

そこで、新地駅周辺の利便性や賑わいを高めるため、駅東西を結ぶ最短ルートへのアクセス道路の整備計画について伺う。

**A** 新地駅東西を結ぶ利便性の高い最短ルートへのアクセス道路については、車両通行を前提に検討したが、その条件を満たす道路延長と敷地が確保できないため、地下自由通路及びエレベーターを設

置して東西の往来が可能になるよう整備を進めてきた。現計画では、国の事業認可等を得ながら進めており、東西の往来は、地下自由通路と県道相馬亘理線バイパスからのアクセス道路を利用することで対応したい。



▲新地駅東区画に建設中のクリニック。歩道や環境整備が待たれる

### 駅東区画の歩道整備を

**A** 新地駅東区画の歩道整備については、当初計画と違った事

建設資材支給については、地区から要望により地区として整備する場合は、町が資材を支給し、整備は地区で行う形で実施しており、今後とも対応していく。

### 建設資材支給事業の創設を

各行政区で実施している協働のまちづくり推進事業や農業関係の保全会活動等は、地域コミュニティや環境整備に大きく寄与している。そこで、地域住民の作業と町の原材料支給により、簡易な道路整備を進めることで、地域の快適な住環境整備を目的に、「建設資材支給事業」を創設する考えを伺う。

建設資材支給については、地区から要望により地区として整備する場合は、町が資材を支給し、整備は地区で行う形で実施しており、今後とも対応していく。



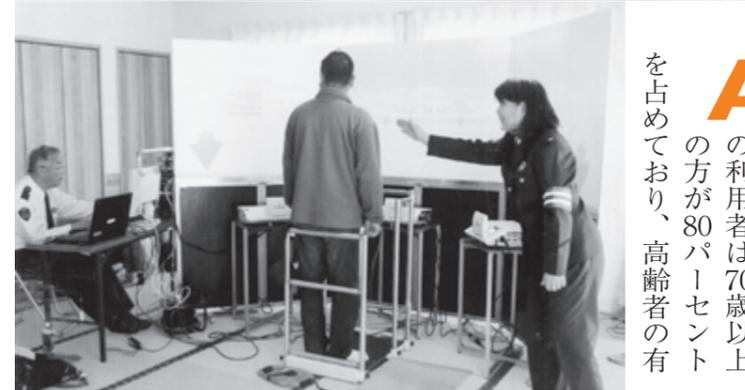
遠藤 満 議員

## Q 運転免許証返納者支援は

### A 町独自の優遇策も検討

**Q** 平成21年に町内商工会員15会員による新地町運転免許返納サービスが発足された。現在は機能していないが、先駆的な支援であった。3月12日施行の道路交通法の一部改正により、自主返納者の増加が想定される。事故防止や利用減少傾向にある「しんちゃんGO」利用促進のためにも、回数券の支援による優遇策を取り入れべきでないか。

**A** 平成21年には町内事業者による運転免許証返納者へ特典の提供が開始されたが、震災後は実施されていない。関係団体への協力呼びかけ、先進地、他自治体、「しんちゃんGO」回数券等要望を考



▲歩行者シュミレータを使つての高齢者交通安全教室(雁小屋地区)

**Q** 高齢者となり運転免許証の自主返納者が増加している。高年齢者の交通事故防止に向けて、運転免許証自主返納につながる優遇措置等について検討していく。

### 高齢者の移動手段について

**Q** 許証の自主返納者が増加している。高年齢者の移動手段を考えた場合、想定される。自家用車以外の移動手段を考えた場合、

ならない。当町では「しんちゃんGO」が高齢者の足である。利用者の要望を把握し、利便性を再検討すべきではないか。また、町の行事、いきいき大運動会、カーリング大会、輪投げ大会、敬老会等に町のバス利用も考えるべきではないか。

**A** 「しんちゃんGO」の利用者は70歳以上の方が80パーセントを占めており、高齢者の有

効な交通手段であり利用の改善ができるか、行事に町のバス利用も含めて検討していく。

**Q** 相馬共火石炭灰処分場について

平成6年、7年に国内最大級の石炭火力発電所として運転開始となり、本町の財政基盤の充実等に寄与し、現在の町があるものと認識している。石炭灰の処理能力が今後20年程度と予想されており、処分場確保には、7年超の期間を要することから早期に取組むべきではないか。また、処分場を確保し、増設の誘致促進を図るべきではないか。

**A** 「3号、4号機の増設を見通した中で、相馬共同火力発電(株)と連携・調整を図りながら検討していく。

## Q いじめを許すな

### A 適切に対応する



井上和文 議員

**Q** 震災6年目を迎えてテレビや、新聞等でいじめの問題が大きく取り上げられている。また、南相馬市での中学2年生女子生徒の自殺事件も衝撃だった。県内外の実態を把握し、抜本的な取り組みが急務だ。特に、こどもは大人や社会の鏡ともいわれることから差別、偏見、誹謗、中傷等を掃く生生涯学習の対応が求められる。文科省は、いじめ対策や不登校支援のため、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)の配置拡充や、常勤化の調査研究を行い、2019年度までにSCを全公立小中学校に、SSWをすべての中学校区に配置したいとしているようだが心のケアやいじめ、不登校の解消には、早期の増員や常勤化が必要だ。

**A** 「人格」の完成という教育本来の目的にたつ子供自主性を尊重し、教職員の主体性、専門性を生かしなが

**Q** 震災6年目を迎えてテレビや、新聞等でいじめの問題が大きく取り上げられている。また、南相馬市での中学2年生女子生徒の自殺事件も衝撃だった。県内外の実態を把握し、抜本的な取り組みが急務だ。特に、こどもは大人や社会の鏡ともいわれることから差別、偏見、誹謗、中傷等を掃く生生涯学習の対応が求められる。文科省は、いじめ対策や不登校支援のため、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)の配置拡充や、常勤化の調査研究を行い、2019年度までにSCを全公立小中学校に、SSWをすべての中学校区に配置したいとしているようだが心のケアやいじめ、不登校の解消には、早期の増員や常勤化が必要だ。



▲元気に遊ぶ新地の子供たち

**Q** 今年に入ってから県内でも2件の自死があり、いじめの関連が疑われ調査委員会の調査が継続している。町から震災後、県外に避難した子供は4人だが、避難先教育委員会からはいじめを受けているという報告はない。国では4月にいじめ防止基本方針を改訂するので、変更内容を踏まえ、適切に対応する。SC、SSWは、週一回各学校に勤務している。人員が少なく常勤化は難しいが、今後も養成も含め県に要望する。

**Q** 新地高校との連携を

今年に入ってから県内でも2件の自死があり、いじめの関連が疑われ調査委員会の調査が継続している。町から震災後、県外に避難した子供は4人だが、避難先教育委員会からはいじめを受けているという報告はない。国では4月にいじめ防止基本方針を改訂するので、変更内容を踏まえ、適切に対応する。SC、SSWは、週一回各学校に勤務している。人員が少なく常勤化は難しいが、今後も養成も含め県に要望する。

**A** 町内唯一の高校であり統合を進める際には、地域関係者の意見を聞くことになっていくので、町としては強く継続を求めている。常磐線開通式の駅カフェなど、ボランティア活動にも取り組んでおり、スポーツや体験入学等も含め連携を進められるよう検討する。

# 常任委員会レポート

## 総務文教

○社会教育及び学校教育の充実について

(開催日 1月24日)

当町小学校の新入学児童数は、平成29年4月推計で約80名となり、以降複式学級となることはないが横ばいの状況である。

通学区の問題は、職員数にも関係するため変更が難



▲ICTを利用した授業

また、各地区婦人会や老人会、女性消防隊等が次第に姿を消し、地域の社会教育活動が疲弊してきている。地域活動活性化のため、こういった組織の育成を要望する。

しい。しかし、以前からの地域要望は、地域の実情を考慮して学区編成を検討するよう要望しており、早急に検討されたい。

なお、電子黒板、タブレット等の計画的な更新の時期を検討されたい。また、当町教育の大きな特色であるICT教育の進展は、ICT支援員の力が大きい。全国に先駆けた教育で「新地で教育を受けたい」という機運の醸成に貢献をもつて取り組んで頂きたい。

また、各地区婦人会や老人会、女性消防隊等が次第に姿を消し、地域の社会教育活動が疲弊してきている。地域活動活性化のため、こういった組織の育成を要望する。

(単位 戸)

## ●新築住宅等調べ

| 年度 | 住宅   |      |     |       |      | 物置その他 | 合計  |
|----|------|------|-----|-------|------|-------|-----|
|    | 新築住宅 | 併用住宅 | 小計  | うち転入者 | アパート |       |     |
| 23 | 19   |      | 19  | 4     |      | 19    | 20  |
| 24 | 36   |      | 36  | 8     | 3    | 39    | 33  |
| 25 | 64   | 1    | 65  | 16    | 11   | 76    | 36  |
| 26 | 169  | 1    | 170 | 29    | 6    | 176   | 73  |
| 27 | 102  | 4    | 106 | 32    | 7    | 113   | 58  |
| 28 | 59   | 1    | 60  | 28    | 5    | 65    | 38  |
| 合計 | 449  | 7    | 456 | 117   | 32   | 488   | 258 |

※税務課調べ

○平成29年度予算編成について

(開催日 2月7日)

平成29年度当初予算の概要についての基本的な考え方は、東日本大震災からの復興事業を確実に進めるため、事業成果の検証と継続事業の早期完了にギアを上げ、総合戦略や地方創生の推進と復興事業に重点を置き、町総合計画後期計画に

掲げる町づくりの将来像の実現に向け予算編成を行ったとしている。

こうした中で、平成29年度一般会計の財政規模は、103億円程度で対前年度比でマイナス36割の見込みとなっており、歳入では、個人・法人町民税、固定資産税の増加で前年度比5割程度の増を見込んでいる。また、次年度への繰越明



▲予算編成についての調査

## 産業厚生

○除染の実施状況並びにごみ減量の取り組みについて

(開催日 1月25日)

除染実施状況は平成26年度、平成27年度の2カ年にわたり、町内250戸の住宅除染が終了、現場保管の福田、新地保育所、3小学校、尚英中学校、子どもの森、相馬開発記念緑地から仮置き場への搬出も終了した。県で実施した新地高等学校の保管分も搬出は終了している。

仮置き場からの中間貯蔵施設への搬出は、パイロツ

ト輸送分が、平成27年度、1,079袋、今年度分で第一期709袋、第二期4,000袋以上で環境省と調整している。公共施設及び住宅除染で発生した除染廃棄物は、全体で7,393

袋あり、現在の保管状況は、仮置き場に5,612袋、搬出完了が1,781袋である。250メッシュの空間放射線量は667カ所で、平成28年度調査では、

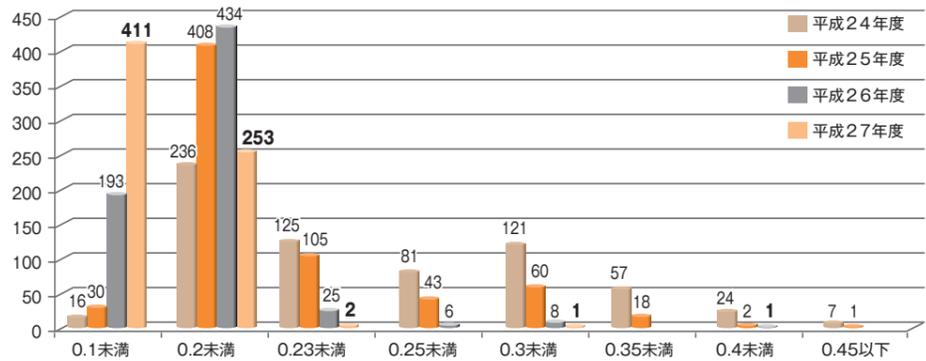


▲ゴミ減量の取組について調査

## ●空間放射線量測定結果

平成27年度の測定(8月28日~9月14日)は、同地点での250m×250mのメッシュ区画調査667箇所を実施。(μSv/h、箇所) ※地上1m高

| 測定結果   | 0.1未満 | 0.2未満 | 0.23未満 | 0.25未満 | 0.3未満 | 0.35未満 | 0.4未満 | 0.45以下 | 計   |
|--------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-----|
| 平成24年度 | 16    | 236   | 125    | 81     | 121   | 57     | 24    | 7      | 667 |
| 平成25年度 | 30    | 408   | 105    | 43     | 60    | 18     | 2     | 1      | 667 |
| 平成26年度 | 193   | 434   | 25     | 6      | 8     |        | 1     |        | 667 |
| 平成27年度 | 411   | 253   | 2      |        | 1     |        |       |        | 667 |



平成27年度測定の結果、0.23μSv/h以上の箇所は、1箇所(0.27μSv/h)であった。この1箇所について、平成28年度に測定を行った結果、0.23μSv/h未満であった。

○道路整備事業の状況について

(開催日 2月9日)

大震災から6年目を迎え、避難道路の役割をもつ釣師浜漁港と内陸側の国道6号を結ぶ釣師小川線並びに臨港道路、釣師浜漁港から役場方面に向かう釣師漁港線のほか、高台と高台を結ぶ大戸浜今泉線、県道相馬亘理線と大戸浜防災集団移転団地に向かう小沢北線などの具体的な改良内容の調査を実施した。

このうち釣師漁港線(延長180m)、2車線片側歩道の舗装改良は、3月に完了を見込む。また、県道相馬亘理線改良は、平成30年度完成予定であるが、取り付け道路としての作田ランプから駅東口までの区間は夏までに供用開始される。



▲道路整備状況を調査

社会資本整備による歩道の設置や、通学路の安全確保、災害時の避難路確保、高齢者の事故防止や生活道路の安全確保対策、生活に欠かせない利便性の高い道路整備を図り、歩行者及び車両交通の安全確保をなお一層進められたい。

# 議 会 日 誌

## 1月

- 11日 年頭交通安全祈願祭
- 11日 年始知事懇談会
- 12日 議会広報編集委員会
- 13日 新春の集い  
議会広報編集委員会
- 20日 県町村議長会理事・監事合同会議
- 24日 総務文教常任委員会
- 25日 産業厚生常任委員会
- 28日 生涯学習フェスティバル
- 31日 例月出納検査

## 2月

- 6日 相馬地方市町村会等の一連の会議
- 7日 総務文教常任委員会
- 9日 産業厚生常任委員会
- 14日 相馬地方広域水道企業団議会定例会
- 16日 議会全員協議会  
復興推進特別委員会  
相馬港LNGプロジェクトの進捗状況説明及び交流会  
随時監査
- 17日 相馬地方広域市町村圏組合定例会
- 20日 相馬方部衛生組合定例会
- 21日 県町村議長会理事・監事合同会議  
県町村議会議長会定期総会
- 21~22日 町内 相馬地方町村議長・事務局長会議
- 22日 県後期高齢者医療広域連合議会
- 23日 新地発電所増設等整備促進特別委員会要望活動(東京電力)
- 24日 新地発電所増設等整備促進特別委員会要望活動  
(東北電力、相馬共火)  
自治労新地町職員労働組合結成60周年記念式典
- 27日 例月出納検査
- 28日 議会運営委員会

## 3月

- 1日 新地高等学校卒業式
- 3~17日 平成29年第1回新地町議会定例会
- 3日 議会広報編集委員会
- 3~14日 予算審査特別委員会
- 11日 東日本大震災新地町追悼式
- 13日 尚英中学校卒業式  
新地発電所増設等整備促進特別委員会  
社会福祉協議会まつり
- 18日 各小学校卒業式
- 23日 阿武隈東道路(相馬山上IC ~ 相馬玉野IC)開通式
- 28日 例月出納検査
- 29日 各保育所満了式
- 30日 JR東日本仙台支社要望活動  
新地駅前泉源掘削工事安全祈願祭

## 4月

- 1日 常磐自動車道山元南スマートインターチェンジ開通式
- 4日 各保育所入所式
- 5日 議会広報編集委員会
- 6日 各小・中学校入学式

## 永年勤続功労表彰



3月3日に新地町議会議員の表彰等に関する規程に基づき、永年勤続功労者(議員在職25年)として菊地正文議長(写真右)並びに鈴木利議員(写真左)を表彰した。

## 東日本大震災新地町追悼式



3月11日に東日本大震災新地町追悼式が農村環境改善センターで行われた。

## 泉源掘削工事 安全祈願祭



JR新地駅周辺の市街地復興整備事業の区域内で、3月30日、泉源掘削工事の安全祈願祭が行われた。

## 編集後記

東日本大震災と原発事故から6年が過ぎました。故から新地町では、被災者の皆様の住宅再建がほぼ完了し、現在は新地駅周辺市街地復興整備事業や釣師防災緑地、県事業である埒浜防災緑地など大型事業が着々と進められており、復興への道筋が見えてまいりました。

しかし、我々は復興事業を推進しながら、将来を見据えたまちづくりも進めて行かなくてはなりません。少子高齢化による人口減少と、労働力不足による地場産業の衰退は、わが町でも差し迫った課題です。

これからもこの難題に対し、町執行部・議会が一体となって取り組んでまいります。

(寺島浩文委員長)

## 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 寺島 浩文 |
| 副委員長 | 齋藤 充明 |
| 委員   | 八巻 秀行 |
| 委員   | 三宅 信幸 |
| 委員   | 吉田 博  |